

小児歯科の先輩から後輩へのメッセージの 企画について



しながわ小児歯科医院（佐世保市） 品川 光春

略 歴

1971年4月 九州歯科大学入学
1977年3月 同 大学卒業
同 年4月 九州歯科大学大学院歯学研究科（小児歯科学専攻）入学
1981年3月 同 大学院卒業（歯学博士号取得）
1982年7月 エンゼル歯科勤務
1984年3月 同 退職
1984年6月 佐世保市浜田町にて「しながわ小児歯科医院」を開業、
現在に至る

本年度、九州歯科大学が創設100周年を迎えました。そこで、記念の企画として九州歯科大学を卒業後、小児歯科専門で開業して、すでに還暦を過ぎた小児歯科の諸先輩から、これから小児歯科の臨床を志している若い後輩の皆様に対して、小児歯科臨床における幅広いメッセージを伝えることにより、これからの小児歯科のさらなる発展に少しでも貢献したいと考え企画いたしました。

私は今年で大学卒業後37年目、小児歯科専門で開業して30年目になります。改めて振り返ってみますと、最も刺激的で貴重だったのは、やはり大学卒業後から開業するまでの7年間です。大学卒業と同時に大学院へ進学しましたが、大学院在籍時代は主に大学の先輩、同輩の先生たちから色々な立場や観点で学ぶことばかりでした。そして勤務医時代や開業してからは、出身大学は関係なく多くの先輩や同輩、さらには後輩の先生たちから、様々なことを学び、今日に至っています。このような状況は、私に限らず歯科医師をリタイアするまでは誰にでもずっと続くように思います。

特に、最近では多くの小児歯科の後輩の先生たちから学ぶことが多く、私にとっては常に新鮮であり、また楽しいことでもあります。

この企画を契機に、大学卒業後から今日までを改めて考えてみると、現在の自分があるのは、出身大学や診療科を問わず多くの先輩、同輩、そして後輩の先生たちからの学習、指導、助言、支援のおかげだと感謝しています。

今回のシンポジウムでこれからの小児歯科の臨床を志す後輩の皆様、私がお世話になった分の少しでも恩返しをすることができればと考えています。